

ベルギーの犯罪発生状況

2020(令和2)年1月
在ベルギー日本国大使館

目次

1 ベルギーの犯罪発生状況

(1) 周辺諸国等との比較

(2) 日本との比較

(3) 注意すべき犯罪:

ベルギーでの発生状況(2018年)

2 日本人が被害に遭いやすい犯罪:

大使館に届けられた邦人被害(2019年)

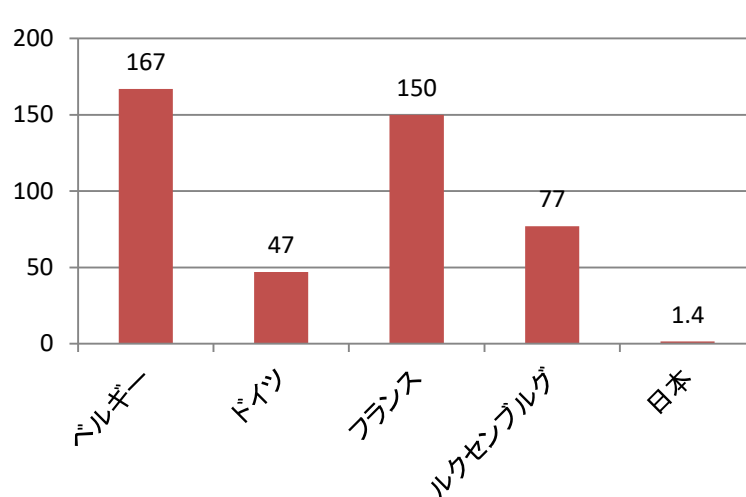
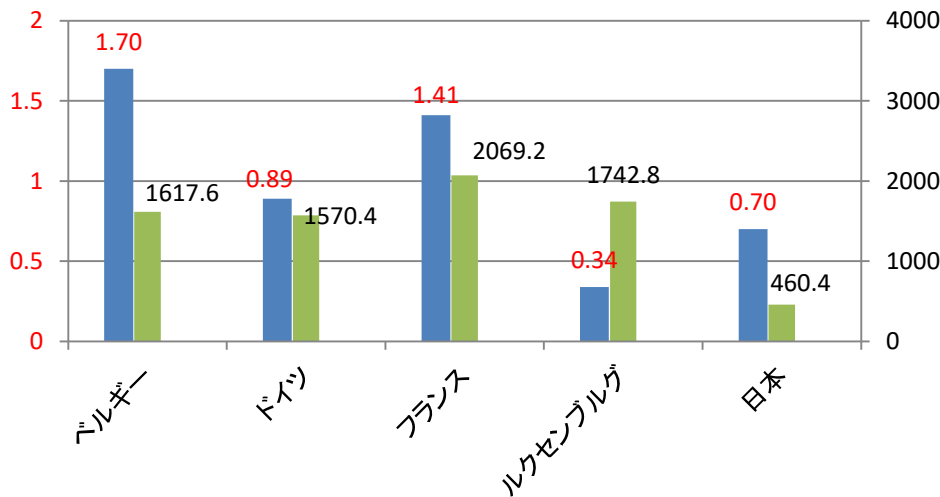
3 ベルギー警察について

4 外出時の注意事項

周辺諸国等との比較

ベルギー周辺諸国等 人口10万人当たりの犯罪認知数

■ 殺人 ■ 窃盗 ■ 強盗



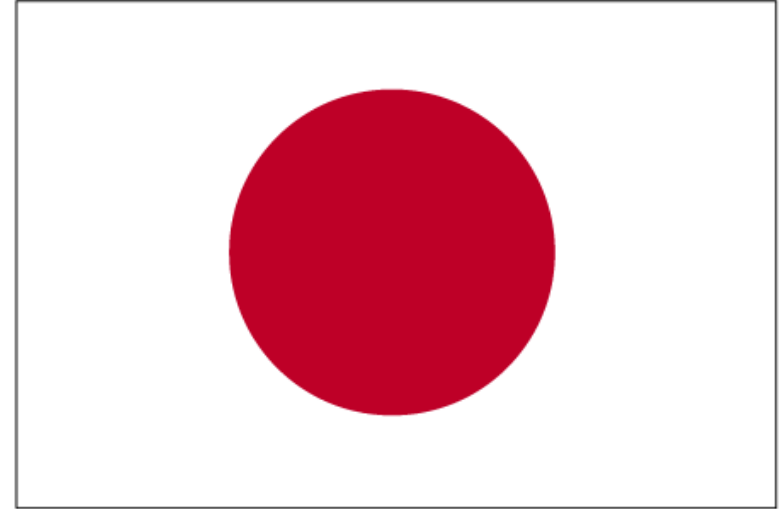
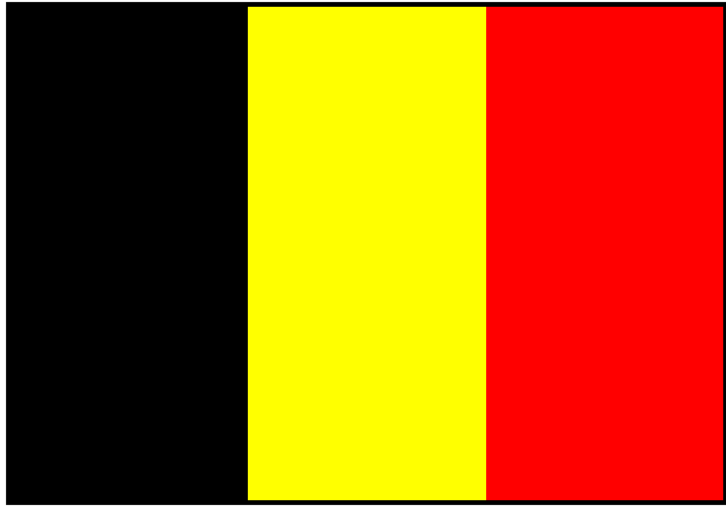
*窃盗に関しては2016年の値/eurostat
(日本及びベルギーは2018年の値
令和元年警察白書及びベルギー連邦警察HP)

*強盗に関しては2017年の値/eurostat
(日本は2018年/令和元年警察白書)

近年、邦人に関しては、生命・身体への重大な被害報告はないものの...

- ■ 強盗は周辺諸国を含めても多発している状況。路上強盗は特に注意すべき犯罪。
- ■ 窃盗の発生水準はフランスやドイツと同等。日本の約3.5倍で邦人被害も多数。

ベルギーと日本との比較



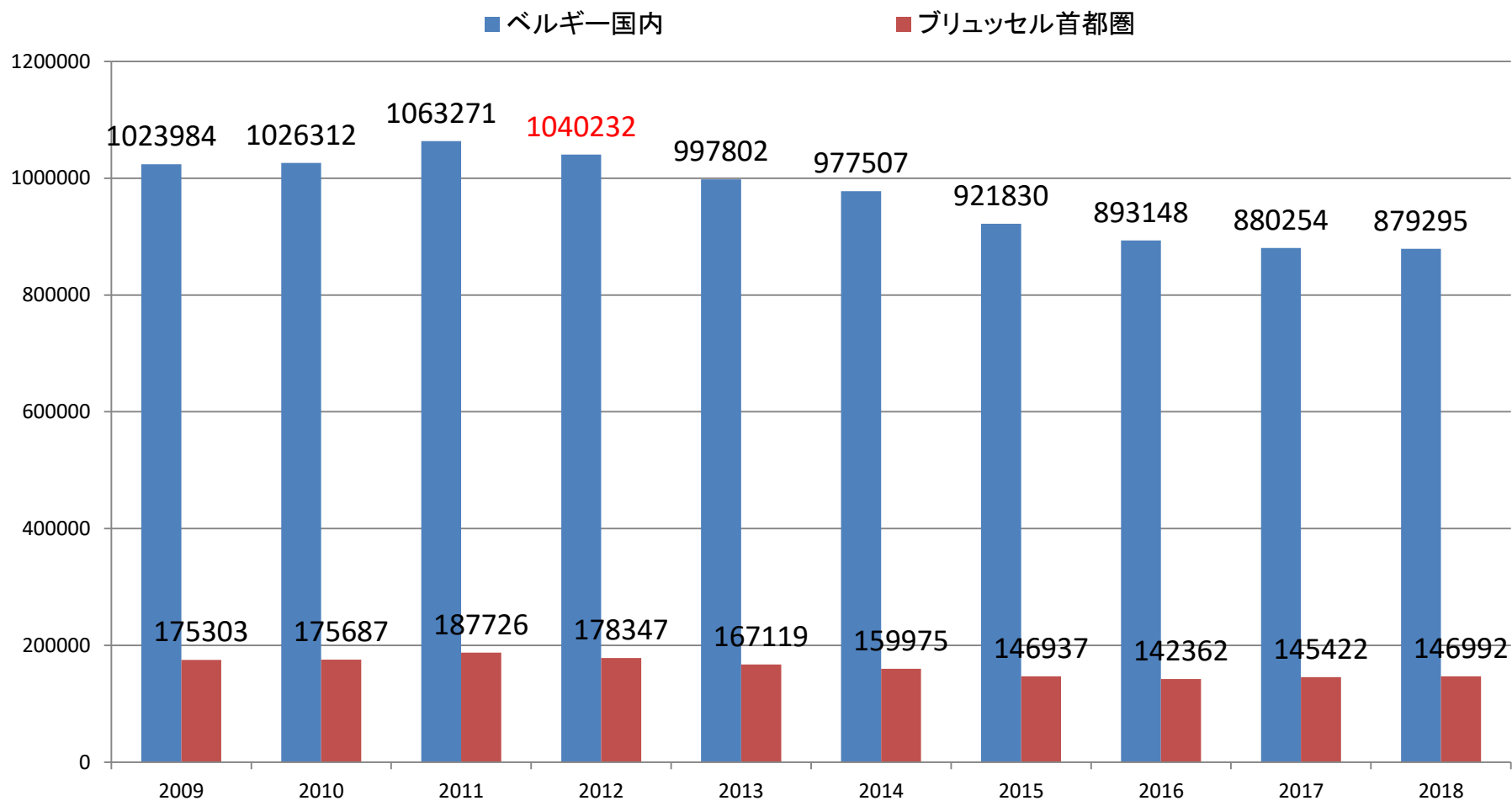
人口	11,431,406人
面積	30,528km ²
警察官	48,600人

人口	127,907,259人
面積	377,973km ²
警察官	259,224人

※出典:人口はSTATBEL(2019年)及び令和元年警察白書

ベルギー国内及びブリュッセル 犯罪認知件数

※出典：ベルギー連邦警察HP及び警視庁HP



東京の刑法犯認知件数：

205708	195970	186432	172385	162557	160120	148182	134619	125251	114492
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

○ ベルギーの犯罪認知件数は2012年以降、減少傾向が継続。

注意すべき犯罪：ベルギーでの発生状況 **2018年**

※注意すべき犯罪：発生件数が上位のもののほか、万一被害に遭った場合、被害回復が困難で精神的にも大きな打撃を受ける強盗を抽出。

ベルギー国内

犯罪認知件数	879, 295
1 侵入盗	52, 158
2 車上ねらい	44, 682
3 自動車損壊	33, 918
7 強盗(凶器なし)	15, 432

日本国内

817, 338	* 刑法犯認知件数
62, 745	
82, 121	* 車上ねらい、部品ねらいを合算 2017年
—	
1, 787	* 凶器の有無は区別なし

ブリュッセル首都圏内

犯罪認知件数	147, 945
1 すり	13, 994
2 車上ねらい	11, 940
3 侵入盗	7, 363
4 強盗(凶器なし)	6, 102

東京都内

114, 492	* 刑法犯認知件数
4, 802	* すり、置引き、仮睡者ねらいを合算
4, 623	* 車上ねらい、部品ねらいを合算
4, 575	
332	* 凶器の有無は区別なし

※出典：ベルギー連邦警察HP(2020年1月) 警察庁令和元年警察白書及び警視庁HP

※出典:ベルギー連邦警察HP(2020年1月)

すり

~首都圏内認知件数第1位

ブリュッセル

7,350件

昨年比+2000以上

サン・ジル

1,394件

昨年比+500以上

アンデルレヒト

767件

ユックル

227件

イクセル

1,023件

昨年比+300以上

W.S.ランベール

168件

W.S.ピエール

83件

オーデルゲム

73件

W.ボワフォール

42件

○ ブリュッセル中心部で急増。

○ 貴重品は大きな荷物の中には入れず、バッグのチャックは締めて体の前で携帯する。

○ 店内や人混みでは要注意。夜間の一人歩きは避け、人や車の往来が多い道を選ぶ。

※出典:ベルギー連邦警察HP(2020年1月)

車上ねらい ~首都圏内認知件数第2位

ブリュッセル
4,082件

W.S.ランベール
205件

サン・ジル
927件

W.S.ピエール
148件

アンデルレヒト
1,263件

オーデルゲム
147件

ユックル
429件

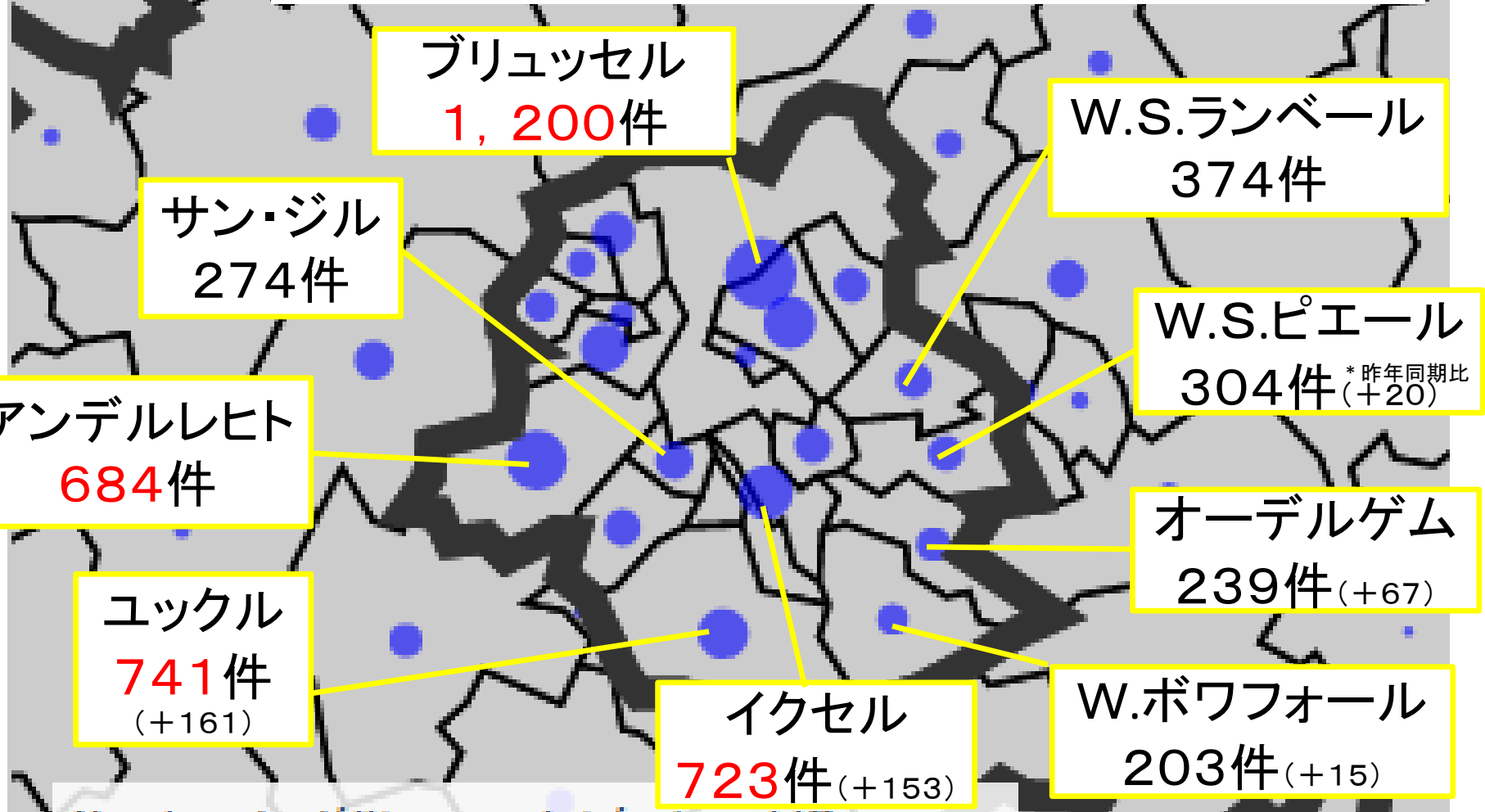
イクセル
1,183件

W.ボワフォール
130件

- たとえ短時間でも駐車車両の中には、貴重品を絶対に放置しない。
- 夜間に路上駐車はせず、昼間でも人気のない裏路地での駐車は避ける。
- ネットや冊子により、外出前に有料・無料駐車場の場所を確認する習慣を。

侵入盗

※出典:ベルギー連邦警察HP(2020年1月)
~首都圏内認知件数第3位



- ユックル・オーデルゲム等の郊外で増加傾向。
- 住居の選定に関しては、地域の選定に加え、物件の弱点を補うことが重要。
- 住居の安全のため、帰宅時は住居周辺の不審者・不審車両の存在をチェック。
- 有事に備えて、職場・学校等の関係者と「連絡網」の構築を。

ベルギー連邦警察HP掲載 統計資料

- 「police fédérale belgique」等で検索、
「Police Fédérale」(ベルギー)にアクセス。
- 画面下部欄外のタブ「Statistiques」を選択。
- 「Statistiques de criminalité」(犯罪統計)の
「Interactif」(任意選択式)を選択。
- 地図データを伴う「Aperçu」(概観)や「Carte」
(地図)を選ぶと、居住地等の犯罪発生状況
を確認できる。

大使館に届けられた邦人被害(2019年)

被害手口

強盗	1
ひったくり	1
すり	26
置き引き	54
車上ねらい	2
客室ねらい	-
侵入盗(空き巣等)	8
その他の手口	4
計	96

年齢

20歳未満	2
20歳代	25
30歳代	18
40歳代	22
50歳代	11
60歳代	15
70歳以上	3
計	96

○ 2017年は95件、2018年は107件。

○ 置き引き及び話しかけられている隙にすり盗られる被害が多数。

大使館に届けられた邦人被害(2019年)

発生場所

		ブリュッセル	アントワープ	ブルージュ	その他の都市
駅	南駅	13	0	1	1
	中央駅	6			
	北駅	7			
	その他の駅	2			
電車・metro・バス内		10	1	1	2
ホテル内		7	0	1	1
レストラン内		1	0	1	1
空港内		1	-	-	-
路上		3	1	1	0
グランプラス周辺		17	-	-	-
その他の場所・自宅		16	0	0	1

○ 旅行者のみならず在留邦人も被害に遭っている。荷物は最小限、貴重品は肌身離さない。

ベルギー警察について

- ベルギー警察は「連邦警察」と「地元警察」に区分される。
- すり、ひったくり、空き巣等の事件は、地元警察が捜査する。
- 殺人、誘拐、カージャック事件など、重大または複数の警察区域にまたがる事件は、連邦警察が捜査する。
- 事件の被害にあったら「101番」又は「112番」
112番 ~ 欧州域内共通の警察通報番号

外出時の留意事項

当局は犯罪やテロの抑止に全力を尽くしており、ベルギー国内及びブリュッセルは、他の欧州の国や都市と同等の安全が確保されているが、以下のような人が多く集まる場所では注意が必要。

- ・市場、ショッピング・モール、商店街
- ・観光地、コンサート会場、スポーツ競技場
- ・公共交通機関（電車、バス、トラムの車内）
- ・空港、駅

など

ベルギーにおける警戒レベル

ベルギーに対するテロ等の脅威については、脅威度分析調整機関(OCAM)が、警察等の治安機関から報告された情報に基づいて分析・評価している。

- レベル1(わずか)
テロは発生し得ない又はテロの脅威が存在しない。
- レベル2(普通)
テロが発生する可能性は小さい。
※ テロの脅威が存在しないことではない。
- レベル3(重大)
テロの可能性があり、発生し得る。
- レベル4(とても重大)
非常に危険な状態であり、事態は切迫している。